

理化学研究所研究発表会プログラム

平成21年3月6日（金）通島地区1号館3階特別講堂

（1）第1部：基幹・大学側生研究発表会

- ＜入場券別＞
5. 9:00 山崎 一孝 Kazuhiko Yamada (理化学化学 D3)
 演題: CDK4 inhibitor p21は細胞周期進性転写因子CDK2によって安定化され、心筋細胞の増殖増進を抑制する
6. 9:20 七平 孝史 Kazuki Hirata (分子遺伝学 D1)
 演題: Pten-1はAkt/PKBのリン酸化を介してMPCの増殖性を抑制する
7. 9:40 西田 孝典 Yuya Nishida (細胞発生生物 特別研究員)
 演題: ATG5の組織特異的オートファジーの分子機構
8. 10:00 本間 真正 Shingo Honda (分子細胞遺伝学 D2)
 演題: X-chromosomal arrayを用いたX染色体増殖促進因子(XLMP)の遺伝子発現
9. 10:20 佐久間(藤森) 浩樹 Hirotaka Sakuma-Fujimori (南極域化学 D3)
 演題: 南極域から南極域への直接的な物質輸送の可能性-マウスモデルを用いて
10. 10:40 日野郎 邦彦 Kunihiko Hinohara (分子細胞 D3)
 演題: ゲノムワイド関連解析により同定された同型染色体感受性遺伝子MRJ1の解析
11. 11:00 小松 周平 Shuhei Komatsu (大学特別派遣研究員)
 演題: 発達途における神経細胞-海馬神経細胞の相互作用
12. 11:20 藤川 良雄 Ryohei Fujiwara (計算科学 D2)
 演題: Filopodial growth factor receptor2遺伝子の相互作用的スプライシング制御機構
13. 11:40 西田 裕弘 Tomohiro Nishida (理化学化学 D3)
 演題: Transcriptional regulation of ERase gene by Hsp90 and Klf family proteins in mouse ES cells
14. 12:00 奥内 孝典 Mima Sekikuni (理化学化学 D4)
 演題: ex-steroidを用いたマウス胚幹細胞への細胞移植後の増殖とES細胞から胚芽細胞への分化誘導

昼休み (12:20-13:10)



11. 12:10 野崎 智樹 Takanori Marumoto (分子細胞遺伝学 D2)
 演題: 発達途におけるYAP増殖の促進
12. 12:30 成瀬 孝典 Miki Naruse (エビジェネティクス D3)
 演題: レトロウイルスを用いた遺伝子を利用した哺乳類の発生過程の解析



13. 12:50 吉岡 隆子 Ryoko Yoshida (分子細胞遺伝学 D2)
 演題: 卵細胞途において細胞特異的DNA複製メカニズムによって制御される遺伝子microRNAの発現



- ＜基幹研究＞
14. 14:10 伊藤 綾香 Ayaka Ito (分子細胞医学 特別研究員)
 演題: 肥満動物モデルにおける脂肪細胞肥大とマクロファージ増殖による炎症性変化の分子機構



15. 14:30 菅田 孝典 Takayoshi Suganami (分子細胞医学 助教)
 演題: 脂質代謝と多価不飽和脂肪酸が関与するメタボリックシンドローム発症の分子機構



16. 14:50 亀田 直樹 Yasuaki Kamei (分子細胞医学 准教授)
 演題: 神経系における神経細胞の分子機構の解析と生活習慣病予防への応用



17. 15:10 野島 孝之 Takayuki Nojima (計算科学 特別研究員)
 演題: ウイルス感染が引き起こすPMLアイソフォームの切り換え



18. 15:30 片岡 直樹 Naoyuki Kataoka (MTTプログラム 計算科学)
 演題: インtron内にコードされるmicroRNAのプロセッシング機構の解析

（2）第2部：論文発表員発表

1. 16:00 松岡 文彦 Fumihiko Matsuka (計算科学)
 論文名: "STAR family RNA-binding protein ASD-2 regulates developmental switching of mutually exclusive alternative splicing in vivo"
2. 松岡 文彦 Fumihiko Matsuka (生物情報学)
 論文名: "Acute effects of estradiol on the guinea pig and human IIR channels and drug-induced prolongation of cardiac repolarization"
3. 藤原 孝典 Ryoko Fujiwara (エビジェネティクス 副センター長)
 論文名: "Whole of retrotransposon-derived imprinted gene, Rpl1, in the fetal-maternal interface of mouse placenta." & "Deletions and duplications affecting the human chromosome 14q32.3 imprinted region in individuals with paternal and maternal up(14)-like phenotypes."



- （3）第3部：表彰式
 16:30 野崎 智樹 所長 講演および発表賞、論文賞の発表と表彰